

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区：一小]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1	自治会の加入率が低いのが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市職員と自治会役員がペアを組んで自宅を訪問し、加入をお願いしていく。</li> <li>◇ 住宅の開発業者に自治会加入を促してもらう。</li> <li>◇ マンション等の管理組合ごと自治会に加入してもらう。(ただし、個人の意識が希薄になる等課題もある)</li> <li>◇ 自治会に加入することによるメリットを作る。(情報提供や食事提供など)</li> <li>◇ 自治会として根気強く繰り返し訪問する。</li> </ul>
2	道路環境が悪く(道幅が狭く)交通量も多いため交通渋滞がしばしば起こる。スクールゾーンもあり危険である。	
3	自治会の区割りと子ども会・学区の区割りが異なるため連携が取りにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自治会の境界に沿って学区を再設定する。(避難所の区割りも課題)</li> </ul>
4	加入者の減少により自治会費を値上げしなければ運営できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 資源ごみの回収で自治会費の補助を検討する。</li> <li>◇ 逆に自治会費が安いことをアピールして、加入者を増やす。</li> </ul>
5	自治会の加入促進にあたって個人情報の取扱いが壁となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 一度名簿として冊子化したら、後は回覧して記入しても良い人だけ記入してもらい更新していくしかない。</li> <li>◇ 本当はあってはならないが、大きな災害を経験すれば意識も変わるのではないか。</li> <li>◇ そもそも強制ではない以上、名簿の作成には、限界がある。</li> </ul>
6	新規の自治会加入者がほとんどいないため、加入者の高齢化が深刻化している。	
7	駐車場が少なく、違法駐車が常態化している。車両へのイタズラ等の治安悪化が心配である。	

8	浄水公園内のトイレに照明が設置されておらず、夜間の使用が危険である。	
9	地域の街灯が故障により撤去されたが、その後、再設置されないままで暗くて危ない。	
10	久保町内会の区域内には公園が整備されておらず、整備が必要である。	
11	地域の相談するためにも自治会同士の交流が大切である。特に遠く離れた他の地域の自治会との情報交換は大変貴重である。	

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区：二小・八小]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1	高齢化が急速に進行している (夫婦ともに高齢の世帯や、配偶者がなくなってしまった独居老人が増えてきている)	
2	高齢化の進行により、出歩けなくなるなどで、自治会の旅行などの催しへの参加が減少している	
3	盆踊りなどの催しへの参加率も減ってきている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 様々な取組みをメニュー化してわかりやすく情報提供している</li> </ul>
4	世代交代がうまくいかず、自治会内の関係が希薄化している	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ お祭りなど、子どもが楽しめる催しを行うことで、子どものころからよい思い出を自治会に持ってもらおう。(自治会の文化をつくる)</li> <li>◇ 全ての基本である挨拶を大切にすることで、関係づくりを行っている。</li> <li>◇ 夫婦間でも、自治会活動の内容などを共有する</li> <li>◇ 町内の地図に会長宅などを記載したものを作成し、配布する【実際に作成途中】(市役所には、印刷の支援等をしてもらいたい)</li> <li>◇ 自治会長宅に札をつけるようにする</li> </ul>
5	若い人が役員になりたがらない (若い人に主体的に地域づくりにかかわってもらい、高齢者はそれを支えるようにしたいが、なかなかそうならない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ お祭りなど、子どもが楽しめる催しを行うことで、子どものころからよい思い出を自治会に持ってもらおう。(自治会の文化をつくる)</li> <li>◇ 一人若い人がなってもらい、その人が、友人を誘い、活性化するようになる。</li> </ul>
6	自治会の後継者が育たない (核家族が増えていることから、育成も難しくなっている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ お祭りなど、子どもが楽しめる催しを行うことで、子どものころからよい思い出を自治会に持ってもらおう。(自治会の</li> </ul>

		文化をつくる)
7	自治会の加入率が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 新しく引っ越してきた方に、ご近所の方からすぐにお誘いをするようにしている。</li> <li>◇ 全ての基本である挨拶を大切にすることで、関係づくりを行っている。</li> <li>◇ 市役所の市民課において、転入者に、防災について、地域コミュニティについて、老人会などの組織について、などレクチャーをするようにしてほしい</li> <li>◇ 市役所の市民課において、相談するべきところとして自治会を紹介してほしい(そのため、市民課に自治会長のリストを渡すべきである。)</li> </ul>
8	マンション住民が、管理組合で固まってしまい、自治会に参加しないため、加入率が低くなってしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 様々な取り組みをメニュー化してわかりやすく情報提供し、加入してもらうように呼びかける。</li> </ul>
9	西地区に交番がなく、防犯上の不安がある。 (地区を管轄する交番がどこか知らない人も多く、相談しにくい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市役所において、交番の誘致を呼び掛ける</li> <li>◇ 市役所において、地区を担当する交番がどこであるかを周知する</li> <li>◇ 自治会においても、回覧板や戸別訪問等で、担当交番の周知をする。</li> </ul>
10	空き家が増えてきており、防犯面で心配がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自治会で巡回等をしている</li> </ul>
11	空き家が増えてきており、空き家へのごみをポイ捨てが問題となっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自治会で巡回等をしている。</li> </ul>
12	防災の観点から、区域内の住民・家族構成の把握などをしたいが、留守宅も多く、なかなかままならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 防災倉庫の点検などの重要なお知らせ・催しのお誘いは全戸配布し、住民の防災意識の啓発を図る</li> </ul>

13	学校別の防災マニュアル（避難所運営マニュアル）を作成したが、防犯協会の意見が入っていないのが気がりである	◇ 入れてほしい
14	学校別の防災マニュアル（避難所運営マニュアル）を作成したが、住民に周知されていない	◇ 市役所として、周知に努めるべきである ◇ 自主的な勉強会を開催した
15	自治会のお知らせ（回覧板など）が滞る	◇ 重要なお知らせや、大きな催しのお誘いは、回覧板ではなく、全戸に配布するようにしている
16	育成会と自治会のコミュニケーションが不足している（自治会には二小の子も八小の子もいるが、お祭りは二小でしかやらないなど）	◇ 自治会役員で双方に参加する人がいる場合、育成会活動に熱心な人を自治会に勧誘する

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区：三小・五小]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1	自治会の加入率が上がらない。全市的な課題であろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 新入居者にはすぐに加入の声掛けを行う。</li> <li>◇ 市報において、自治会の紹介（例えば、自治会加入のメリットや普段の活動の様子を紹介するなど）することにより、自治会加入につなげる。</li> <li>◇ 市のホームページに各自治会の紹介ページを設けることにより、自治会の様子を伝え、加入につなげる。</li> </ul>
2	高齢の方など一人暮らしの方については、病気など気づく人がいないので、配慮が必要である。	
3	高齢者やしょうがい者、持病を持つ方など災害弱者への対応が必要である。ただし、地域で助け合うにも、昨今は個人情報取り扱いの問題などで障壁がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 民生・児童委員や日赤奉仕団の方も一緒に活動を行い、地域全体で取り組む。</li> </ul>
4	国立第三小学校内の防災倉庫内の毛布が古く、汚れや匂いなど使用できるものではない。使えないものを置いていても意味がない。第三小学校の防災倉庫は、学校の空き教室を利用しているので、自治会が自由に出入りできない点でも空気入れ替えもできず問題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 毛布などの備蓄品は、計画的に定期に入れ替えを行う。</li> </ul>
5	国立第一中学校は、用務員が二人いて学校周りの清掃を行っているが、国立第三小学校に周りは、清掃が行き届いていない。地域の構成員として、2週に1度でも月1度でも清掃をきちっと行うべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校と連携して児童・生徒による清掃活動を実施する。</li> <li>◇ ごみ0運動には、家族で参加される人もいるので、そのような運動による清掃活動を行う。</li> </ul>
6	地域住民同士がお互いのコミュニケーションを取れていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域のイベントなどで顔を合わせる機会を増やしていく。</li> </ul>
7	東地域には集まれる場所がない。会員数の多い自治会にはそのような場所が必要である。	

8	自治会費が低額でも加入してもらえない現状がある。	
9	駐車場がなく不便である。	
10	高齢の自治会員が回覧板も回せないということで、退会されてしまうケースがある。	
11	自治会内でも行事に参加される人が限定されてしまっている。多くの方に参加していただき、イベントを担ってもらえるようにしていく必要がある。	
12	市への要望が実現しない。(具体的な話を聞けず)	
13	市からのチラシ(その場ではごみ減量のものが例示された)が毎年同じもので、工夫がないため、配布する意味がない。	

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区：4 小学区]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1	会員の防災に対する関心が薄い。	北地域には防災に関する先進的な取組みを行っている自治会がある。そうした事例を他自治会に広げていくことにより会員の防災に関する関心を高めていく。 日ごろからの親睦が、いざというときの防災力につながる。
2	自治会役員のなり手がいない。	緩やかな運用とすることが大事。例えば、班長になることが負担で自治会をやめてしまうような場合は、個別事情を勘案して、班長にならなくても良いから自治会にはとどまってもらうことを認めても良いのではないか。 誰が役員になっても自治会の運営ができるような仕組みづくりが必要である。
3	会員の高齢化・孤立化が進んでいる。	「災害時の見守り」を「平常時の見守り」にシフトしていく。いきなり大きなことをしようとすると長続きしないため、負担感の少ない取組みとし、継続して続けられるようにする。 見守りをする際には、民生委員と連携して行う。 家から出てこない人に対しては、顔を合わせるきっかけづくりが大事になってくる。 70 歳以上の会員に景品を渡し、敬老のお祝いをしている。
4	中央線沿いにできる側道の交通対策がどうなるか不安だ。 北地域は南北の道路が整備されておらず、狭い道路が多い。 北大通りの国分寺市境が整備されていない。また、立川市側が貫通していない。	
5	公園に隣接しているので、夜間の騒音、ボール遊び、花火といった公園に起因するトラブルがある。	行政・警察と協働して、夜間のパトロールをする。 ボールが入ってこないようなフェンスを設置してもらう。 公園利用者にマナーアップを呼びかける。



		他に子どもが遊べる場所を作る
6	国立市の財政を考えると、赤道の処分により歳入を確保する必要がある。	
7	近所付き合いが薄れてきた。	中央線の高架化に伴い側道ができる。その花壇の手入れを近隣の住民が行うことにより、近所付き合いの機会を作っていく。
8	道路添いの植栽に、ごみが捨てられている。	
9	スピードを出し過ぎの車や、交通マナーを守っていない自転車がいて危険である。	
10	自治会組織のない地域がある。	
11	行政境における行政の連携が悪い。	
12	高層マンションの組合と自治会のつながりが少ない。	
13	自治会に入ってくれない人がいる。	自治会加入を促すパンフレットを作製したので、国立市で印刷してほしい。
14	見守りをしようとしても個人情報の壁がある。	

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区： 六小 ]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1-1	<p><b>自治会の問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入率低下が問題になっている。</li> <li>・会長、副会長のなり手がいない。</li> </ul>	<p>都営矢川北アパートなど団地によっては、全員加入が必須である。</p> <p>自治会連合体をつくり、強制的に加入させる。</p> <p>淡泊でありながら温かみのある集まりが大事と思う。</p> <p>集まって地域で困りごとを相談して、拘束力の弱いゆるやかな組織を目指すべき。</p>
1-2	<p><b>コミュニティの問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティが希薄になることで、孤独死の問題がでている。</li> <li>・バザーやイベントなどは多くの人が集まるが、一過性で終わってしまうためコミュニティに結び付かない。</li> </ul>	<p>コミュニティを強めるためには、防災を中心に考えるのが良い。</p> <p>矢川の川掃除や子どもの川遊びなどイベント参加人数は多い。</p>
1-3	<p><b>プライバシーの問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーの問題があり、連絡用の名簿が作成できない。</li> <li>・名簿作成が、振込詐欺など犯罪につながってしまう恐れがある。</li> </ul>	<p>名簿の記載事項をグループ分けして、プライバシーの度合いで分けて、どこまで書くか書く人に判断してもらう方法も良い。</p>
1-4	<p><b>情報連絡についての問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会同士の連携(横のつながり)がない。</li> <li>・掲示板が地域になく、情報伝達がうまくいかない。看板を立てる土地が欲しい。</li> </ul>	<p>自主防災組織は、横の連絡がある。</p> <p>自分たちの身近な問題であるせいかよく機能している。</p> <p>市から自治会への情報、自治会から市への情報と情報共有が大事である。</p>

2	<p><b>道路の問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京女子体育大学への道が暗い</li> <li>・安全の問題や騒音の問題から、さくら通りと都市計画道路 3・3・15 号線がどうなるか心配に思う。</li> <li>・狭い道路があり、車同士がすれ違えず不便に思う。</li> </ul>	無回答
	<p><b>質疑</b></p> <p>自治会加入することで、災害時に食料配給優先等の待遇が可能か。</p>	

# 総合基本計画策定に係る地域懇談会 意見まとめ

[学区： 七小 ]

No.	まちの課題	解決策・取組み
1	・自治会・町内会の運営が大変である	◇ 「楽しい自治会」をモットーにし、運営を行う
2	・新規加入者が少なく、自治会・町内会会員が高齢化している	◇ チラシを配布し、会への加入を促す ◇ 突然訪問して加入をお願いするのではなく、コミュニケーションをとってから会への加入を促す
3	・自治会・町内会への加入をお願いしたくても、アパートの居住者が把握できない	◇ アパートの入居条件に会への加入を明記する
4	・新規会員が自治会・町内会活動に無関心である	◇ 「楽しい自治会」をモットーにし、運営を行う ◇ 楽しいイベントを開催してコミュニケーションを図る
5	・隣近所との付き合いが希薄となっている。住民同士・会員同士のコミュニケーションが不足している	◇ 日頃のあいさつから始める ◇ 楽しいイベントを開催してコミュニケーションを図る
6	・居住者の孤立化が進んでおり、見守りや声掛けが必要	◇ 楽しいイベントを開催してコミュニケーションを図る ◇ 「楽しい自治会」をモットーにし、運営を行う
7	・一人暮らし高齢者が増えている	◇ 楽しいイベントを開催してコミュニケーションを図る
8	・団地内に居住する外国人のマナーが気になる	
9	・団地内で学区が分割されている	
10	・団地の空き室が増えている	◇ 団地（UR）に大学生が入居できるようにする（市もそのための支援をする）
11	・防災対策（市の指定する避難所が遠い場所にある）	◇ 市の防災訓練に参加するほか、独自の防災訓練を実施する

12	・通学路がはっきりしていない	◇ 通学路であることの標識を設置し、あわせて周知を図る
13	・通学路が危険。交通事故が発生している場所への対策（大 山道坂下のT字路）	◇ 通学時の児童・生徒の見守りを継続する ◇ 1つの自治会だけでなく、多くの自治体がまとまって行政や 警察に要望する
14	・街灯が少ない（防犯への対策）	